

令和4年度 第2回 市政モニターアンケート  
**住宅の防火意識に関する調査**

令和4年9月  
仙台市消防局予防部予防課

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の趣旨

仙台市消防局では、火災発生の抑止と被害の低減を目的に、さまざまな手法で火災予防の広報に取り組んでいます。

仙台市における火災の発生状況としましては、平成6年の554件をピークに減少傾向が続き、昨年（令和3年）の火災件数は平成以降として最も少ない228件と、ピーク時の半分以下の件数になっています。その一方で、火災による死者が最も多く発生している住宅火災は、毎年ほぼ一定の割合で発生しており、各家庭における住宅防火対策のさらなる普及が必要となっています。

本調査は、市民の皆さまの住宅防火への意識や仙台市消防局の火災予防広報への感じ方などを把握し、事業をより効果の高いものとするために実施しました。

(2) 調査期間 令和4年6月1日～6月17日

(3) 調査対象 市政モニター200名

(4) 調査方法 郵送及びインターネット

(5) 回収数 有効回答数 192（回収率 96.0%）

## 2. 報告書の見方

(1) 各設問の回答比率は、設問項目ごとに回答数を回答者数（n）で除したものとしています。複数回答の設問については、選択肢ごとに回答者数（n）で除していません。

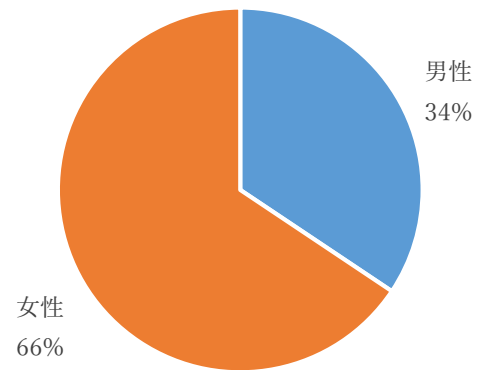
(2) 回答比率は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

### 3. 調査結果

#### I. あなた自身とお住まいについて

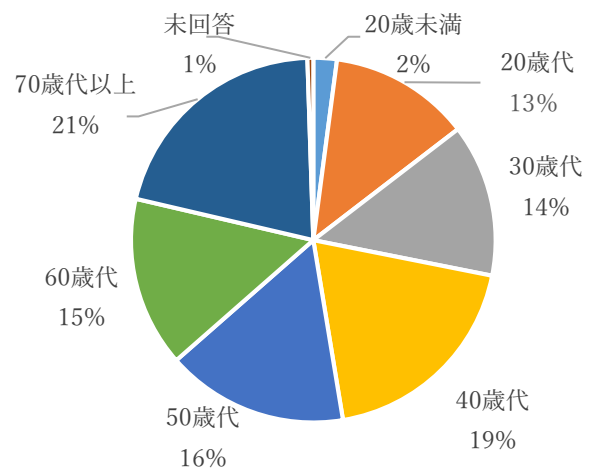
##### 問1. 性別 (n=192)

|    | 回答数 | 比率  |
|----|-----|-----|
| 男性 | 66  | 34% |
| 女性 | 126 | 66% |



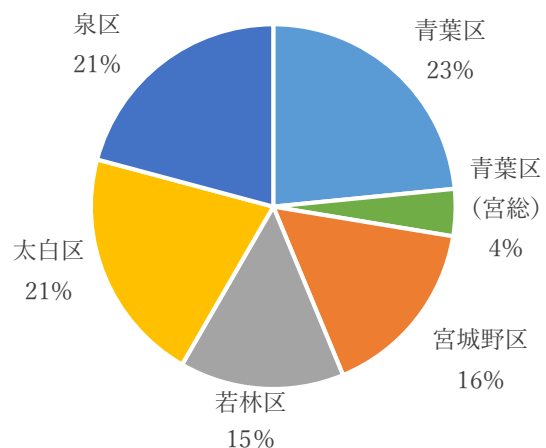
##### 問2. 年齢 (n=192)

|        | 回答数 | 比率  |
|--------|-----|-----|
| 20歳未満  | 4   | 2%  |
| 20歳代   | 24  | 13% |
| 30歳代   | 26  | 14% |
| 40歳代   | 37  | 19% |
| 50歳代   | 31  | 16% |
| 60歳代   | 29  | 15% |
| 70歳代以上 | 40  | 21% |
| 未回答    | 1   | 1%  |



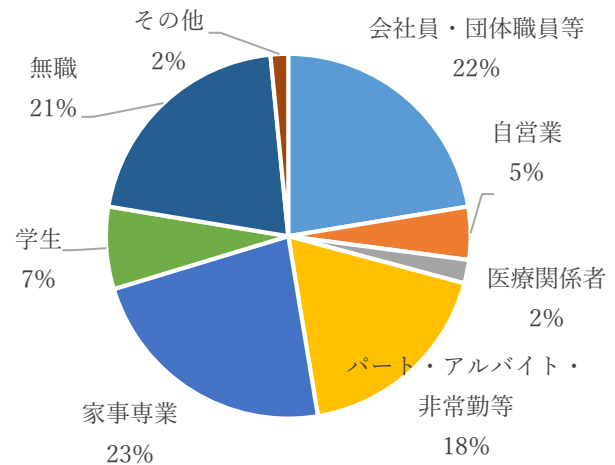
##### 問3. 居住区 (n=192)

|                | 回答数 | 比率  |
|----------------|-----|-----|
| 青葉区            | 45  | 23% |
| 青葉区 (宮城総合支所管内) | 8   | 4%  |
| 宮城野区           | 31  | 16% |
| 若林区            | 28  | 15% |
| 太白区            | 40  | 21% |
| 泉区             | 40  | 21% |



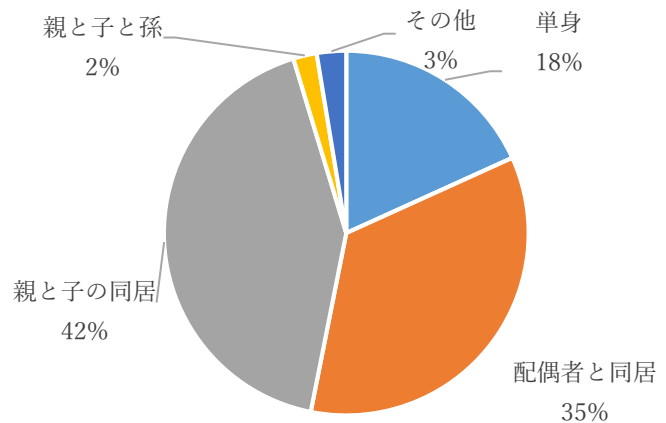
問 4. 職業 (n=192)

|                  | 回答数 | 比率  |
|------------------|-----|-----|
| 農林漁業             | 0   | 0%  |
| 会社員・団体職員等        | 43  | 22% |
| 自営業 (家族従業員の方を含む) | 9   | 5%  |
| 医療関係者            | 4   | 2%  |
| パート・アルバイト・非常勤等   | 35  | 18% |
| 家事専業             | 44  | 23% |
| 学生               | 14  | 7%  |
| 無職               | 40  | 21% |
| その他              | 3   | 2%  |



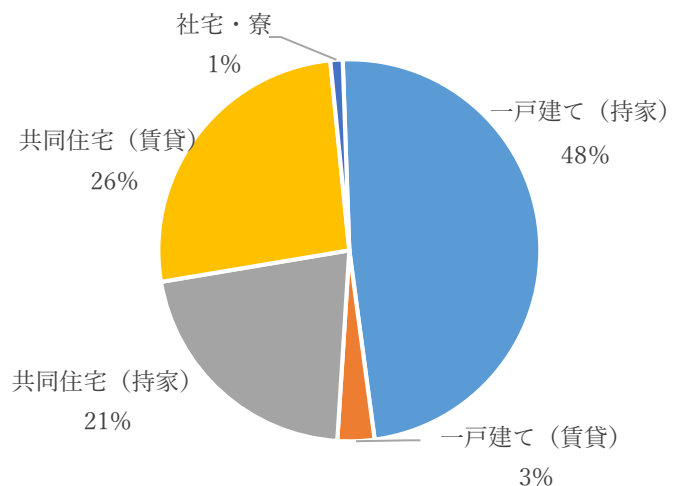
問 5. 家族形態 (n=192)

|              | 回答数 | 比率  |
|--------------|-----|-----|
| 単身 (ひとり暮らし)  | 35  | 18% |
| 配偶者と同居       | 67  | 35% |
| 親と子の同居 (2世代) | 81  | 42% |
| 親と子と孫 (3世代)  | 4   | 2%  |
| その他          | 5   | 3%  |



問 6. 居住形態 (n=192)

|           | 回答数 | 比率  |
|-----------|-----|-----|
| 一戸建て (持家) | 93  | 48% |
| 一戸建て (賃貸) | 6   | 3%  |
| 共同住宅 (持家) | 41  | 21% |
| 共同住宅 (賃貸) | 50  | 26% |
| 社宅・寮      | 2   | 1%  |
| その他       | 0   | 0%  |

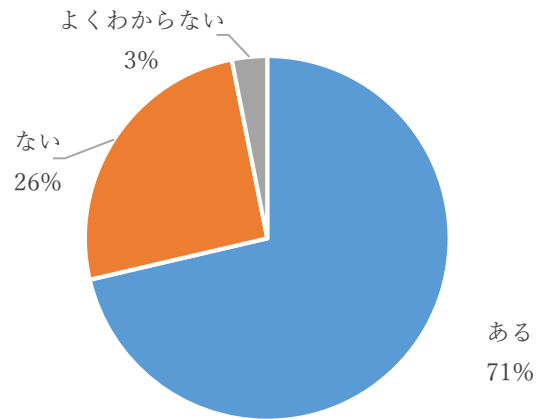


## Ⅱ. 火災予防意識などについて

問7. 日常生活の中で、火災に対する不安を感じることはありますか。あてはまる選択肢1つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| ある      | 137 | 71% |
| ない      | 49  | 26% |
| よくわからない | 6   | 3%  |

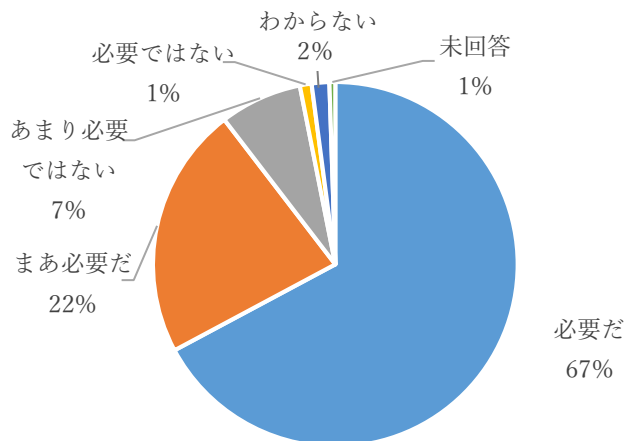
日常生活の中で火災に対し不安を感じる方がいる方は、71%となっている。



問8. ご自宅での火災予防の対策は必要だと思いますか。あてはまる選択肢1つに☑をつけてください。(n=192)

|           | 回答数 | 比率  |
|-----------|-----|-----|
| 必要だ       | 129 | 67% |
| まあ必要だ     | 43  | 22% |
| あまり必要ではない | 14  | 7%  |
| 必要ではない    | 2   | 1%  |
| わからない     | 3   | 2%  |
| 未回答       | 1   | 1%  |

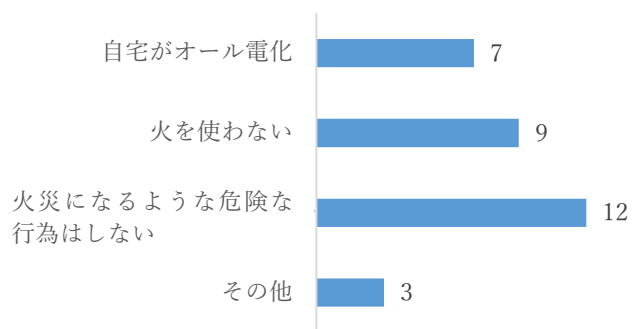
火災予防対策の必要性を感じている方は89%にのぼっている。



⇒問8で「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問10へお進みください。)

問9. なぜそう思いますか。あてはまることを選んでください。(複数回答可、n=16)

|                   | 回答数 | 比率  |
|-------------------|-----|-----|
| 自宅がオール電化          | 7   | 44% |
| 火(ガソリン・ガスなど)を使わない | 9   | 56% |
| 火災になるような危険な行為はしない | 12  | 75% |
| その他               | 3   | 19% |

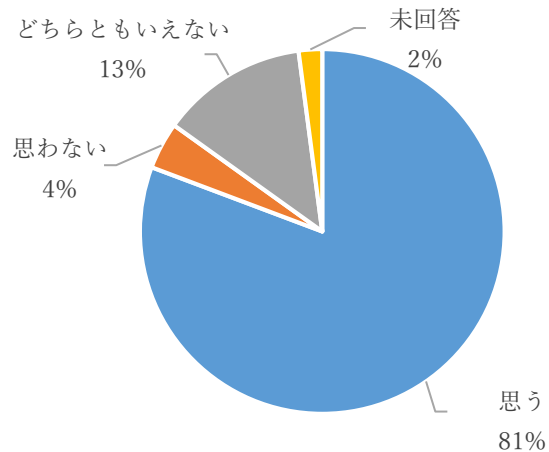


火災予防対策の必要性を感じていない方の多くは、火気を使用する機会が少なく、行動にも配慮していることがうかがえる。

問 10. 火災予防に関する情報を知りたいと思うことはありますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|           | 回答数 | 比率  |
|-----------|-----|-----|
| 思う        | 155 | 81% |
| 思わない      | 8   | 4%  |
| どちらともいえない | 25  | 13% |
| 未回答       | 4   | 2%  |

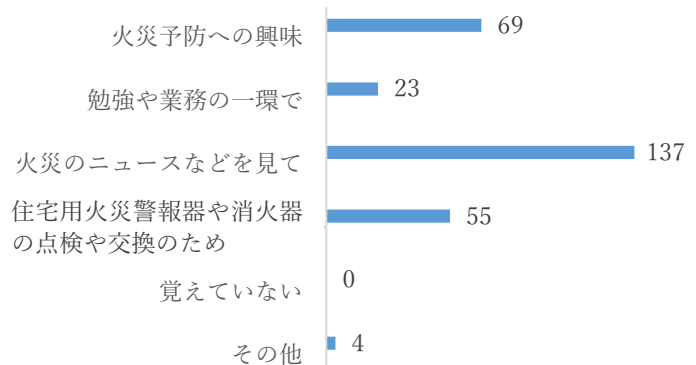
火災予防に関する情報の必要性を感じる方は 81%となっている。



⇒問 10 で「思う」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 12 へお進みください。)

問 11. どういうときに火災予防に関する情報を知りたいと思いましたか。あてはまることを選んでください。(複数回答可、n=155)

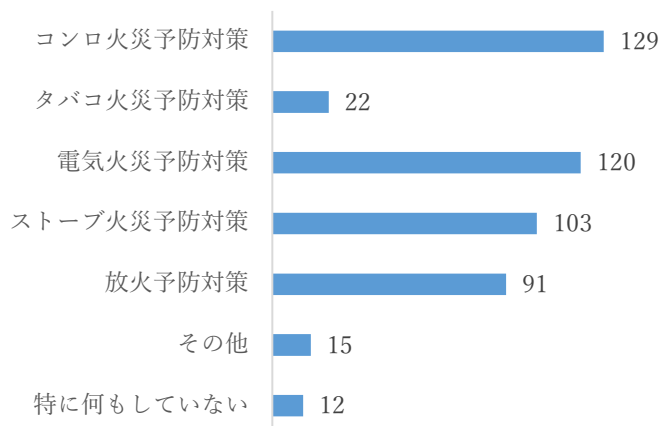
|                       | 回答数 | 比率  |
|-----------------------|-----|-----|
| 火災予防への興味              | 69  | 45% |
| 勉強や業務の一環で             | 23  | 15% |
| 火災のニュースなどを見て          | 137 | 88% |
| 住宅用火災警報器や消火器の点検や交換のため | 55  | 35% |
| 覚えていない                | 0   | 0%  |
| その他                   | 4   | 3%  |



火災予防に関する情報の必要性を感じる方の多くは、火災のニュースなどを見て関心を持つことがわかる。

問 12. ご自宅で行っている火災予防対策があれば選んでください。(複数回答可、n=192)

|            | 回答数 | 比率  |
|------------|-----|-----|
| コンロ火災予防対策  | 129 | 67% |
| タバコ火災予防対策  | 22  | 11% |
| 電気火災予防対策   | 120 | 63% |
| ストーブ火災予防対策 | 103 | 54% |
| 放火予防対策     | 91  | 47% |
| その他        | 15  | 8%  |
| 特に何もしていない  | 12  | 6%  |



「特に何もしていない」方は 6%で、多くの方が何らかの火災予防対策を講じていることがわかる。

### Ⅲ. 住宅防災機器等について

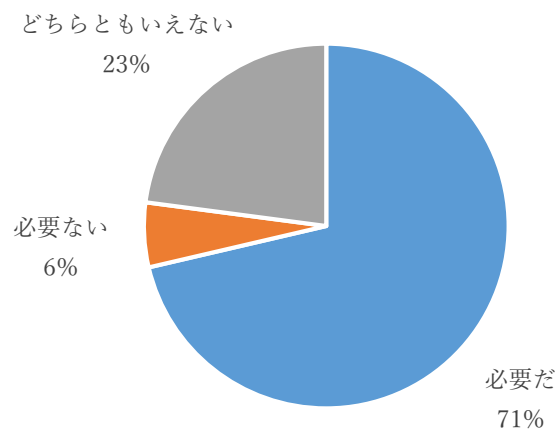
#### ① 消火器について

住宅用消火器は、住宅火災が発生した初期の段階で消火を行うことで被害を抑えることを目的に、設置を推進しているものです。

問 13. ご自宅に「消火器」は必要だと思いますか。あてはまる選択肢1つに☑をつけてください。(n=192)

|           | 回答数 | 比率  |
|-----------|-----|-----|
| 必要だ       | 137 | 71% |
| 必要ない      | 11  | 6%  |
| どちらともいえない | 44  | 23% |

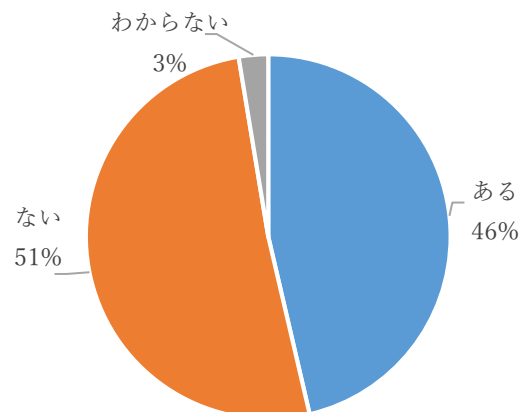
消火器の必要性を感じている方は71%となっている。



問 14. ご自宅に「消火器」はありますか。あてはまる選択肢1つに☑をつけてください。(n=192)

|       | 回答数 | 比率  |
|-------|-----|-----|
| ある    | 89  | 46% |
| ない    | 98  | 51% |
| わからない | 5   | 3%  |

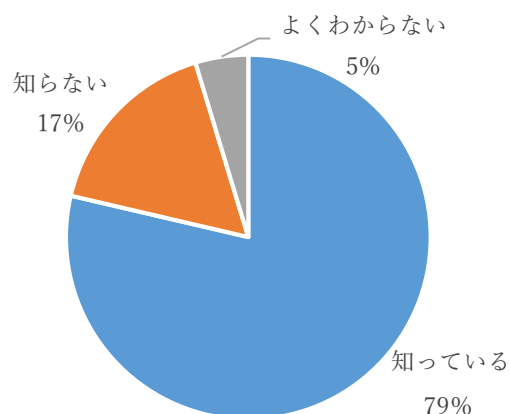
消火器について「ある」と回答した方は50%を下回っている。  
問 13 の回答状況からも、消火器の必要性を感じながらも持っていない方がいることがわかる。



問 15. 消火器には使用期間（期限）があり、安全に使用するため交換が必要ですが、知っていましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。（n=192）

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 知っている   | 151 | 79% |
| 知らない    | 32  | 17% |
| よくわからない | 9   | 5%  |

消火器の使用期限について、20%程度の方が認識していない状況となっている。



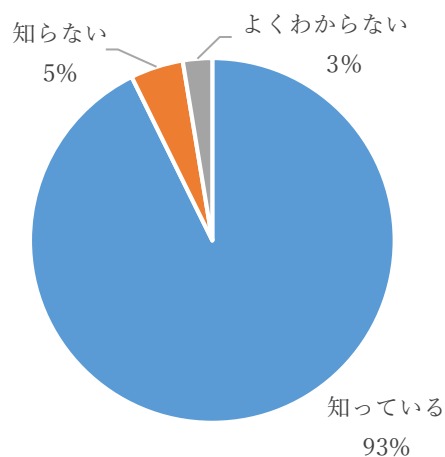
## ② 住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器とは、火災により発生する煙（または熱）を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。戸建住宅・共同住宅（自動火災報知設備の設置義務のないもの）など全ての住宅が設置の対象となっています。

問 16. ご自宅につける火災警報器「住宅用火災警報器」を知っていますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。（n=192）

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 知っている   | 178 | 93% |
| 知らない    | 9   | 5%  |
| よくわからない | 5   | 3%  |

住宅用火災警報器は、ほとんどの方が知っている状況となっているが、100%には至っていない。

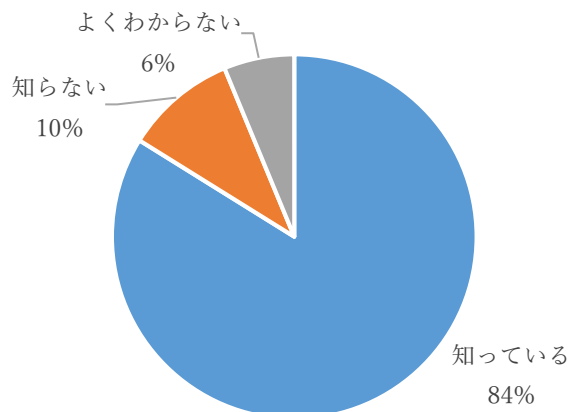




問 17. 住宅には住宅用火災警報器の設置が義務付けられていることを知っていますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 知っている   | 161 | 84% |
| 知らない    | 19  | 10% |
| よくわからない | 12  | 6%  |

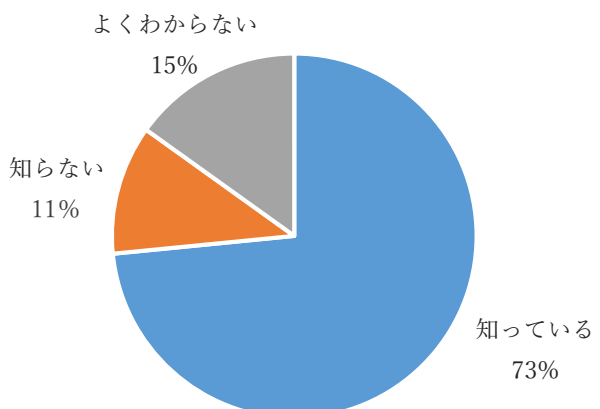
住宅用火災警報器の設置が義務であることを知っている方の割合は 84%となっており、問 16 において機器(警報器)を「知っている」と回答した方の数値(93%)を下回っている。



問 18. 万が一の火災の場合、特に就寝中などに火災に早く気付くために、住宅用火災警報器はとても有効ですが、この住宅用火災警報器の効果を知っていましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 知っている   | 141 | 73% |
| 知らない    | 22  | 11% |
| よくわからない | 29  | 15% |

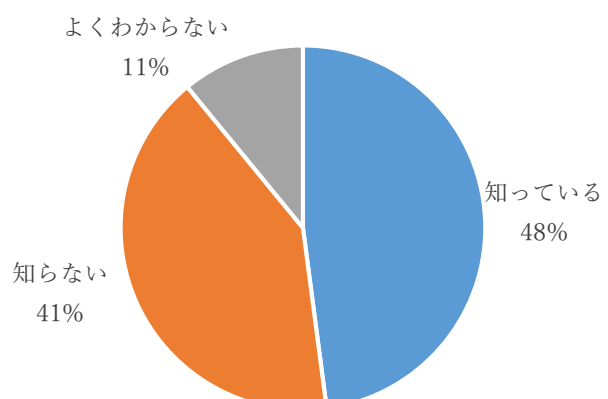
住宅用火災警報器の有効性について、一定の割合の方に理解されているものの、認識していない方の割合が問 16、17 よりも増えている。



問 19. 住宅用火災警報器は 10 年程度で交換の必要があります。知っていましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 知っている   | 92  | 48% |
| 知らない    | 79  | 41% |
| よくわからない | 21  | 11% |

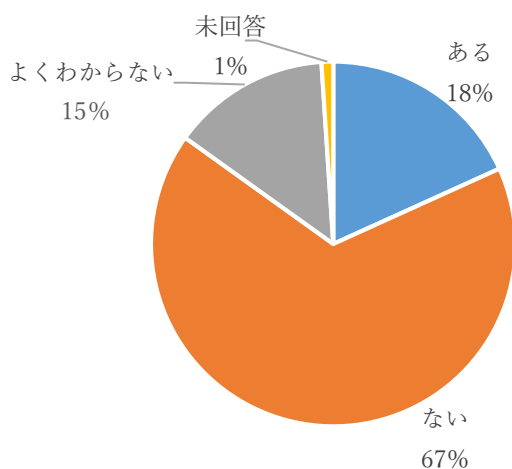
住宅用火災警報器の交換の必要性は半数以上の方が理解していない状況となっている。



問 20. 住宅用火災警報器を交換したことはありますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| ある      | 35  | 18% |
| ない      | 128 | 67% |
| よくわからない | 28  | 15% |
| 未回答     | 1   | 1%  |

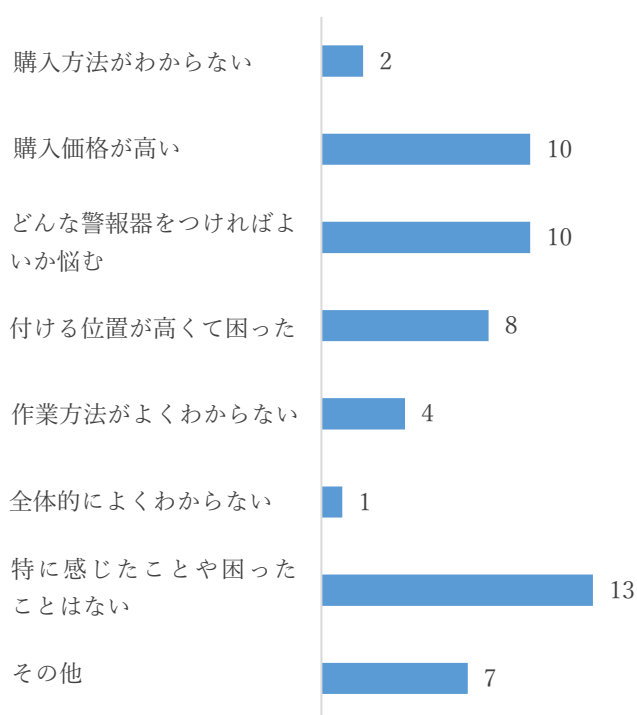
住宅用火災警報器を交換した経験のある方は 18%となっている。



⇒問 20 で「ある」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 22 へお進みください。)

問 21. 住宅用火災警報器を交換するとき感じたことで、あてはまるものがありましたら選んでください。(複数回答可、n=35)

|                  | 回答数 | 比率  |
|------------------|-----|-----|
| 購入方法がわからない       | 2   | 6%  |
| 購入価格が高い          | 10  | 29% |
| どんな警報器をつければよいか悩む | 10  | 29% |
| 付ける位置が高くて困った     | 8   | 23% |
| 作業方法がわからない       | 4   | 11% |
| 全体的によくわからない      | 1   | 3%  |
| 特に感じたことや困ったことはない | 13  | 37% |
| その他              | 7   | 20% |



住宅用火災警報器の交換については、価格・機種・取り付け作業の面についての回答の割合が比較的高いものの、特に感じたことや困ったことはないとの回答も一定数ある状況となっている。

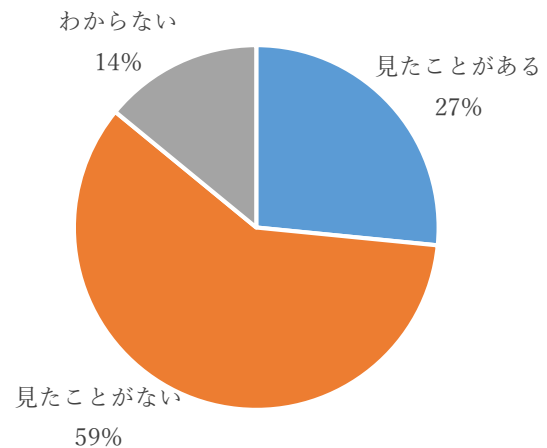
#### IV. 火災予防のチラシについて

仙台市消防局では火災予防運動や住宅用火災警報器に関する火災予防のチラシをつくっています。(チラシについて別紙1「チラシのイメージ」参照してください。)

問 22. 仙台市消防局がつくっている火災予防のチラシ(別紙1「チラシのイメージ」に掲載しているチラシまたはそれ以外でも)を見たことはありますか。あてはまる選択肢1つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 見たことがある | 51  | 27% |
| 見たことがない | 114 | 59% |
| わからない   | 27  | 14% |

「見たことがある」と回答した方は27%にとどまった。

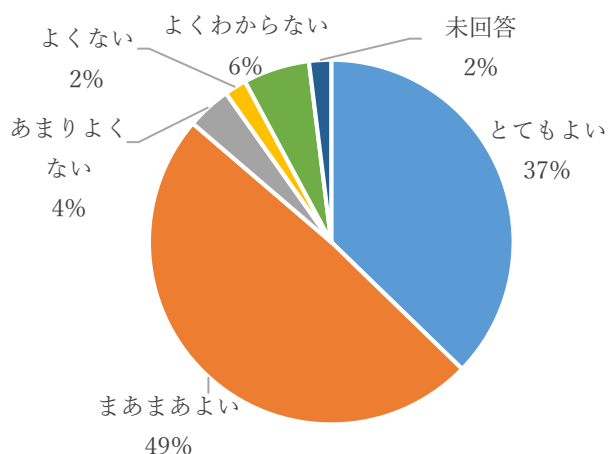


⇒問 22 で「見たことがある」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 25 へお進みください。)

問 23. 仙台市消防局がつくっている火災予防のチラシについてどう思いますか。あてはまる選択肢1つに☑をつけてください。(n=51)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| とてもよい   | 19  | 37% |
| まあまあよい  | 25  | 49% |
| あまりよくない | 2   | 4%  |
| よくない    | 1   | 2%  |
| 興味がない   | 0   | 0%  |
| よくわからない | 3   | 6%  |
| その他     | 0   | 0%  |
| 未回答     | 1   | 2%  |

チラシを見たことがある方からおおむね良い評価が得られた。

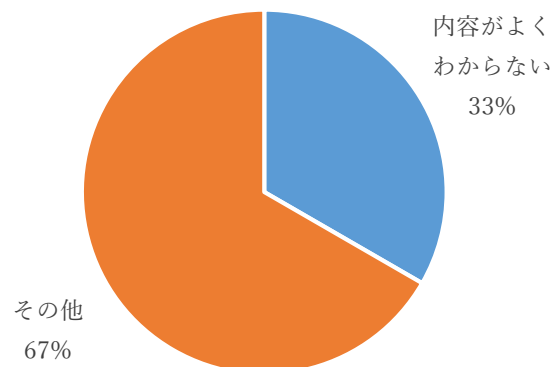


⇒問 23 で「あまりよくない」「よくない」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 25 へお進みください。)

問 24. なぜそう思いましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=3)

|            | 回答数 | 比率  |
|------------|-----|-----|
| 内容がよくわからない | 1   | 33% |
| デザインがよくない  | 0   | 0%  |
| なくてもよい     | 0   | 0%  |
| その他        | 2   | 67% |

回答対象者が 3 名と少ないが、内容が伝わりにくいといった回答がされた。



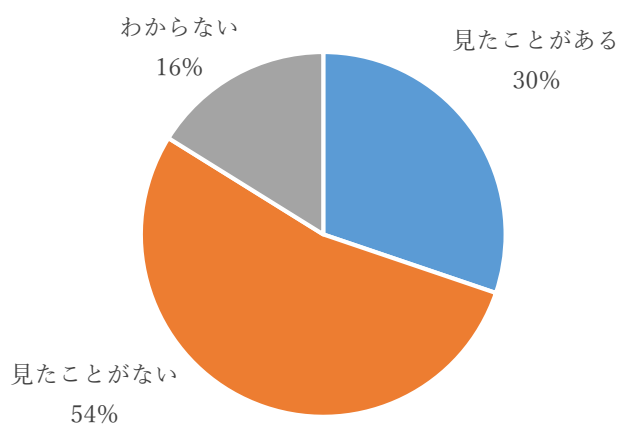
## V. 火災予防のポスターについて

仙台市消防局では火災予防運動や住宅用火災警報器に関するポスターを市内に掲示しています。(ポスターについて別紙 2「ポスターのイメージ」参照してください。)

問 25. 仙台市消防局がつくっている火災予防のポスター(別紙 2「ポスターのイメージ」に掲載しているポスターまたはそれ以外でも)を見たことはありますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| 見たことがある | 58  | 30% |
| 見たことがない | 103 | 54% |
| わからない   | 31  | 16% |

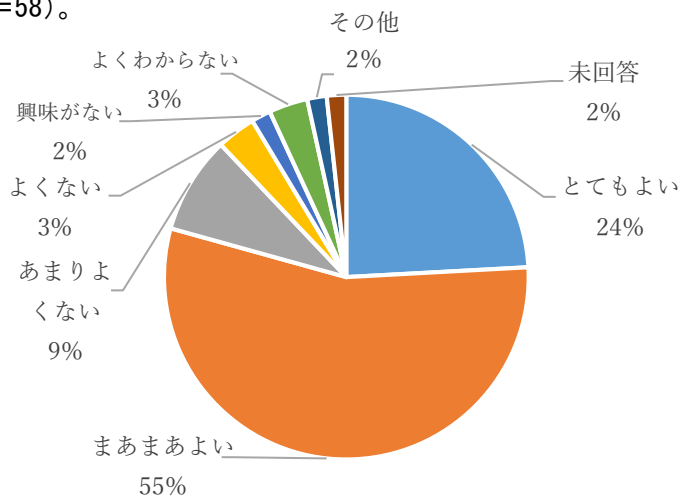
「見たことがある」と回答した方は、30%にとどまった。



⇒問 25 で「見たことがある」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 28 へお進みください。)

問 26. 仙台市消防局がつくっている火災予防のポスターについてどう思いますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください (n=58)。

|         | 回答数 | 比率  |
|---------|-----|-----|
| とてもよい   | 14  | 24% |
| まあまあよい  | 32  | 55% |
| あまりよくない | 5   | 9%  |
| よくない    | 2   | 3%  |
| 興味がない   | 1   | 2%  |
| よくわからない | 2   | 3%  |
| その他     | 1   | 2%  |
| 未回答     | 1   | 2%  |

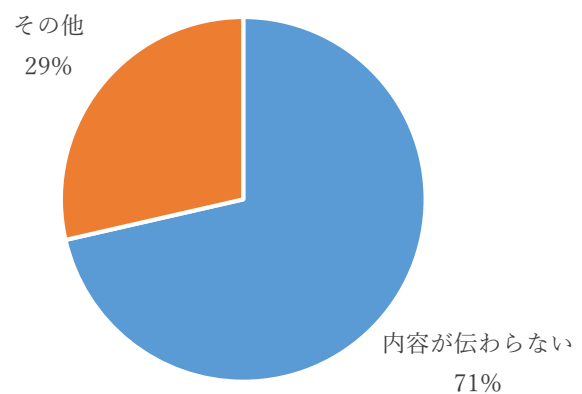


ポスターを見た方の 79%から「とてもよい」「まあまあよい」との回答がされた。

⇒問 26 で「あまりよくない」「よくない」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 28 へお進みください。)

問 27. なぜそう感じましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=7)

|               | 回答数 | 比率  |
|---------------|-----|-----|
| 内容が伝わらない      | 5   | 71% |
| 全体的にデザインがよくない | 0   | 0%  |
| なくてもよい        | 0   | 0%  |
| その他           | 2   | 29% |



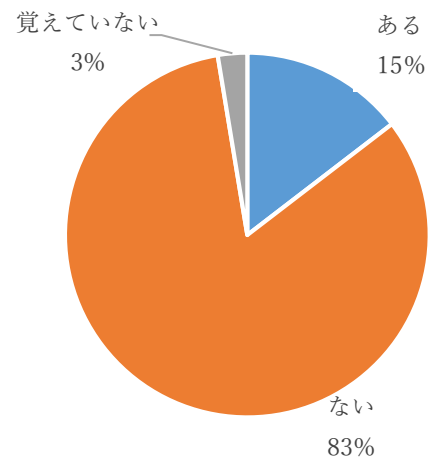
回答対象者が 7 名と少ないが、内容が伝わらないとの回答がされた。

## VI. ホームページ・SNSについて

問 28. インターネットや SNS で、火災予防に関連する情報を検索したことがありますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。(n=192)

|        | 回答数 | 比率  |
|--------|-----|-----|
| ある     | 28  | 15% |
| ない     | 159 | 83% |
| 覚えていない | 5   | 3%  |

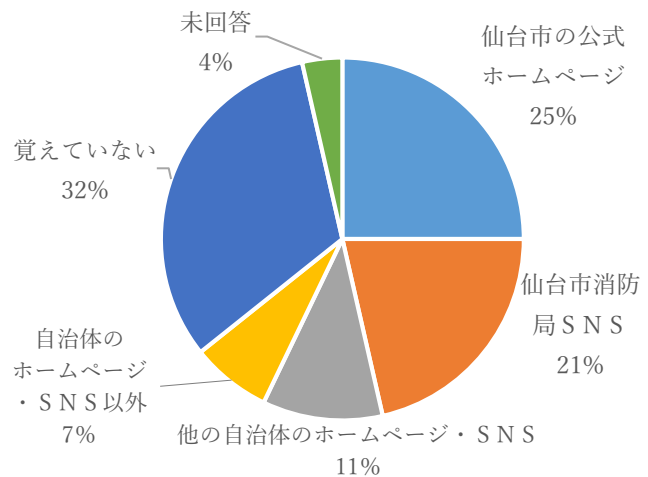
火災予防に関連する情報を検索したことがある方は 15%にとどまった。



⇒問 28 で「ある」と回答した方におたずねします。(それ以外の方は問 31 へお進みください。)

問 29. 検索の結果、閲覧したものは何ですか。あてはまるもの 1 つに☑をつけてください。(あてはまるものが複数ある方は、よく閲覧するものに☑をつけてください)(n=28)

|                  | 回答数 | 比率  |
|------------------|-----|-----|
| 仙台市の公式ホームページ     | 7   | 25% |
| 仙台市消防局 SNS       | 6   | 21% |
| 他の自治体のホームページ・SNS | 3   | 11% |
| 自治体のホームページ・SNS以外 | 2   | 7%  |
| 覚えていない           | 9   | 32% |
| 未回答              | 1   | 4%  |

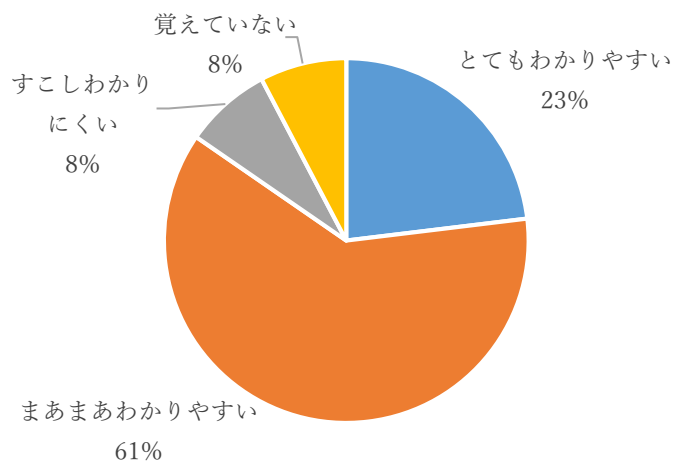


火災予防に関連する情報を閲覧したことがある方の 46%が仙台市の公式ホームページ・仙台市消防局 SNS を閲覧しており、他の自治体のホームページ・SNS を含めると、57%の方が行政機関の情報を閲覧している。

⇒問 29 で「仙台市の公式ホームページ」または「仙台市消防局 SNS」を選択した方におたずねします。（それ以外の方は問 31 へお進みください。）

問 30. 掲載されている内容はわかりましたか。あてはまるものを選んでください。（n=13）

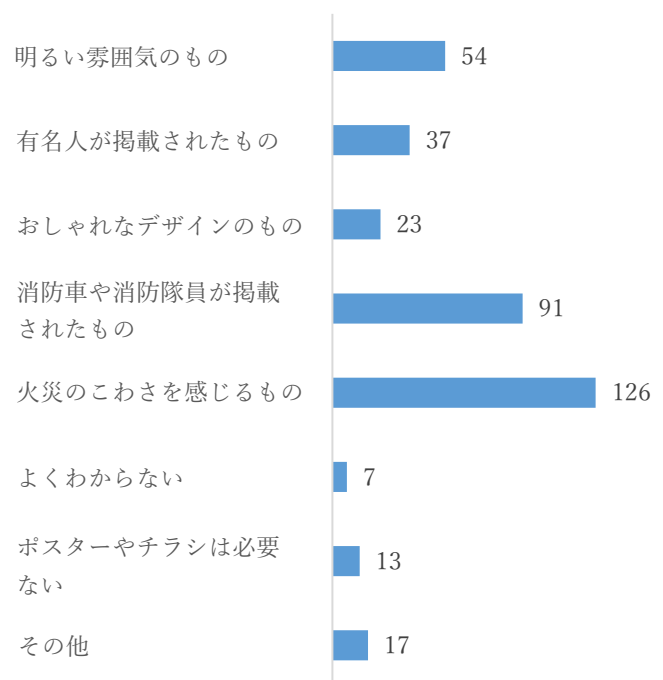
|              | 回答数 | 比率  |
|--------------|-----|-----|
| とてもわかりやすい    | 3   | 23% |
| まあまあわかりやすい   | 8   | 61% |
| すこしわかりにくい    | 1   | 8%  |
| とてもわかりにくい    | 0   | 0%  |
| 必要な情報が見当たらない | 0   | 0%  |
| 覚えていない       | 1   | 8%  |
| その他          | 0   | 0%  |



## VII. 広報全体について

問 31. 仙台市消防局がつくる火災予防のポスターやチラシは、市民に広報するうえでどのようなデザインが適当（効果がある）だと思いますか。または見てみたいですか。（複数回答可、n=192）

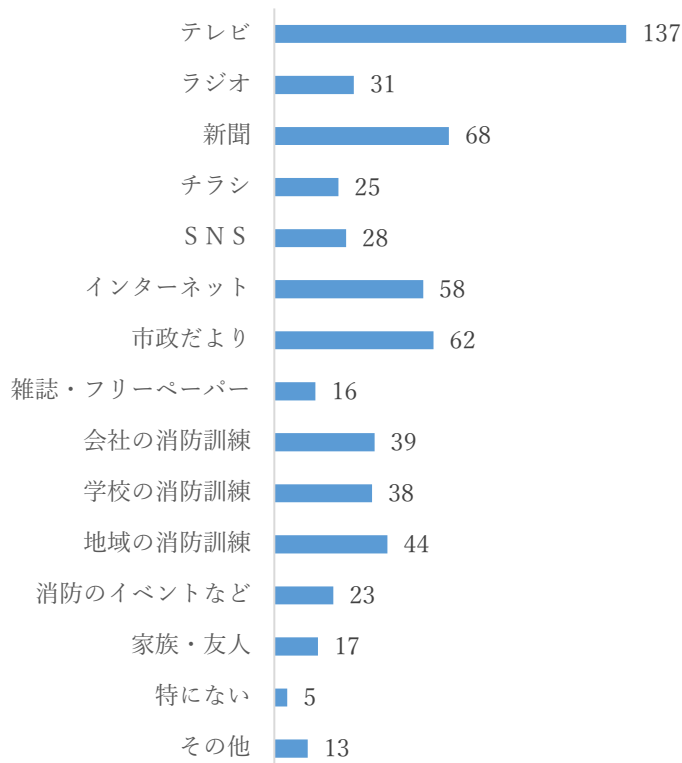
|                  | 回答数 | 比率  |
|------------------|-----|-----|
| 明るい雰囲気のもの        | 54  | 28% |
| 有名人が掲載されたもの      | 37  | 19% |
| おしゃれなデザインのもの     | 23  | 12% |
| 消防車や消防隊員が掲載されたもの | 91  | 47% |
| 火災のこわさを感じるもの     | 126 | 66% |
| よくわからない          | 7   | 4%  |
| ポスターやチラシは必要ない    | 13  | 7%  |
| その他              | 17  | 9%  |



仙台市消防局のポスターやチラシに望むデザインは、「火災のこわさを感じるもの」が 66%で最も多く、次いで「消防車や消防隊員が掲載されたもの」が 47%となっている。

問 32. あなたの火災予防の知識は主に何から得ましたか。(複数回答可、n = 192)

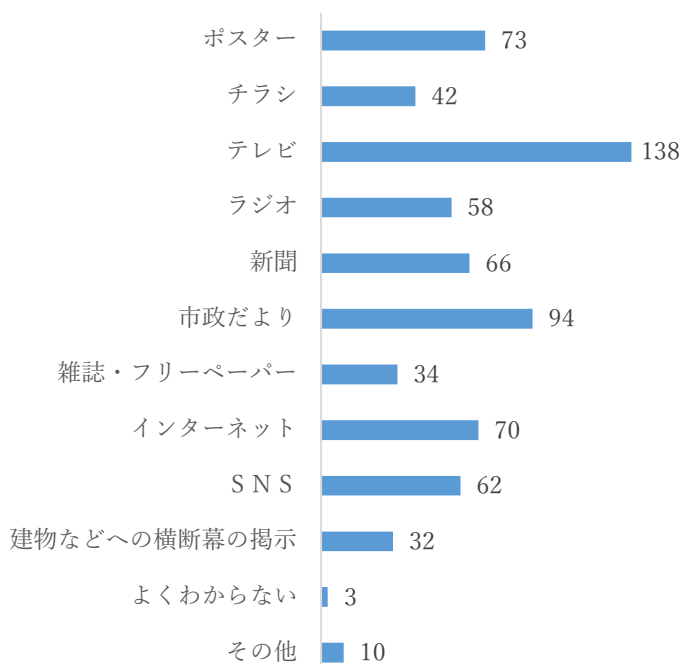
|            | 回答数 | 比率  |
|------------|-----|-----|
| テレビ        | 137 | 71% |
| ラジオ        | 31  | 16% |
| 新聞         | 68  | 35% |
| チラシ        | 25  | 13% |
| SNS        | 28  | 15% |
| インターネット    | 58  | 30% |
| 市政だより      | 62  | 32% |
| 雑誌・フリーペーパー | 16  | 8%  |
| 会社の消防訓練    | 39  | 20% |
| 学校の消防訓練    | 38  | 20% |
| 地域の消防訓練    | 44  | 23% |
| 消防のイベントなど  | 23  | 12% |
| 家族・友人      | 17  | 9%  |
| 特にない       | 5   | 3%  |
| その他        | 13  | 7%  |



火災予防の知識は、主に「テレビ」「新聞」「市政だより」「インターネット」「会社・学校・地域における消防訓練」から得られていることがわかる。

問 33. 火災予防の広報は何の媒体をつかうと効果があると考えますか。(複数回答可、n = 192)

|              | 回答数 | 比率  |
|--------------|-----|-----|
| ポスター         | 73  | 38% |
| チラシ          | 42  | 22% |
| テレビ          | 138 | 72% |
| ラジオ          | 58  | 30% |
| 新聞           | 66  | 34% |
| 市政だより        | 94  | 49% |
| 雑誌・フリーペーパー   | 34  | 18% |
| インターネット      | 70  | 36% |
| SNS          | 62  | 32% |
| 建物などへの横断幕の掲示 | 32  | 17% |
| よくわからない      | 3   | 2%  |
| その他          | 10  | 5%  |

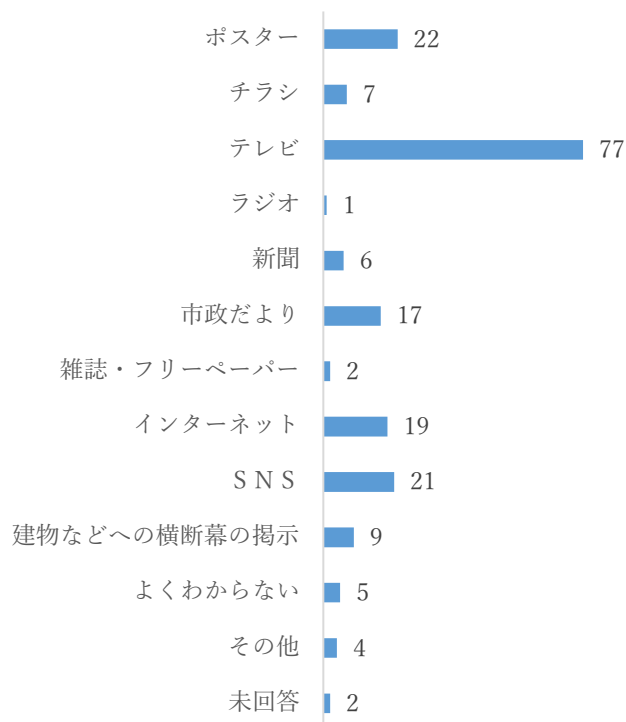


市民が火災予防の広報の効果が高いと考える媒体は、複数回答可とした設問においては「テレビ」「市政だより」「ポスター」「インターネット」の順となっている。



問 34. 問 33 で回答した中で、最も効果が高いと考えるものを1つ選んでください。(n = 192)

|              | 回答数 | 比率  |
|--------------|-----|-----|
| ポスター         | 22  | 11% |
| チラシ          | 7   | 4%  |
| テレビ          | 77  | 40% |
| ラジオ          | 1   | 1%  |
| 新聞           | 6   | 3%  |
| 市政だより        | 17  | 9%  |
| 雑誌・フリーペーパー   | 2   | 1%  |
| インターネット      | 19  | 10% |
| SNS          | 21  | 11% |
| 建物などへの横断幕の掲示 | 9   | 5%  |
| よくわからない      | 5   | 3%  |
| その他          | 4   | 2%  |
| 未回答          | 2   | 1%  |



市民が火災予防の広報として最も効果が高いと考える媒体は、「テレビ」が最も多く、次いで「ポスター」「SNS」「インターネット」「市政だより」となっている。

問 35. 火災予防のために広報をしてほしいこと、知りたいことなどありましたら記入願います。

→その他意見・自由意見へ

問 36. そのほか、火災予防やその広報へのご意見や感想、改善に向けたご提案などありましたら記入願います。

→その他意見・自由意見へ

## Ⅷ その他意見・自由意見

※ご意見については一部を要約して掲載しています。

問 9. なぜそう思いますか。あてはまることを選んでください。

※『問 8. ご自宅での火災予防の対策は必要だと思いますか。あてはまる選択肢 1 つに  をつけてください。』において、「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した方に対する設問です。

- ・火災報知器の点検は必ず受けている。(50 歳代・女性)
- ・IH コンロで、ストーブも利用せず、こまめに掃除をし、タバコも室内では吸わないように決めているため。(30 歳代・女性)
- ・IH コンロを使用している。(20 歳未満・女性)

問 11. どういうときに火災予防に関する情報を知りたいと思いましたか。あてはまることを選んでください。

※『問 10. 火災予防に関する情報を知りたいと思うことはありますか。あてはまる選択肢 1 つに  をつけてください。』において、「思う」と回答した方に対する設問です。

- ・消防車が始終通るのでその時思う。(70 歳代以上・男性)
- ・近所で火災が起きたとき。(50 歳代・女性)

問 12. ご自宅で取り組んでいる火災予防対策があれば選んでください。

- ・ブラインドを防火性の高いものにした。火の出るものは置かない。(30 歳代・女性)
- ・マンションでの対策としては従来から管理組合と自治会が連携して防災訓練を行うほか、地域の防災訓練にも参加し会員に対してアピールを行っている。(70 歳代以上・男性)
- ・カーテンには燃えにくい素材のものを使用している。(40 歳代・女性)
- ・消火用品の購入。(20 歳代・女性)
- ・ストーブが完全に消えてから外出する。(60 歳代・女性)
- ・外出するときはコンセントや元栓のチェックをしている。(50 歳代・女性)
- ・火災報知器の設置。(50 歳代・女性・2 名)
- ・準オール電化に切り替えた。(60 歳代・女性)
- ・ガスコンロでない物件を選んだ。(20 歳代・女性)
- ・ガスコンロの下に消火器を常設している。(50 歳代・女性)
- ・IH だが煮込み料理などの際に離れるときは、タイマーを必ずセットする。(40 歳代・女性)
- ・オール電化なので石油ストーブなども置いていない。ガス器具もなし。(60 歳代・女性)
- ・外出時、就寝時の火の点検をしている。(60 歳代・男性、50 歳代・女性)

問 21. 住宅用火災警報器を交換するときに感じたことで、あてはまるものがありましたら選んでください。

※『問 20. 住宅用火災警報器を交換したことはありますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。』において、「ある」と回答した方に対する設問です。

- ・10年を超えてもまだ大丈夫かという先送りにしてしまった。(60歳代・女性)
- ・10年を過ぎても1つは警報を鳴らすと作動する。まだ大丈夫かと思い1つは交換していない。(60歳代・女性)
- ・マンションのため、管理組合等により交換がされている。(70歳代以上・男性・5名)

問 24. なぜそう思いましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。

※『問 23. 仙台市消防局がつくっている火災予防のチラシについてどう思いますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。』において、「あまりよくない」「よくない」と回答した方に対する設問です。

- ・字が多くてポスターではない。大事なことに絞って、字を少なく大きくして、パッと見て内容がすぐ分かるものにすべき。(30歳代・女性)
- ・仙台市やその関連団体が作成しているチラシの色使いやデザインに酷似しているため、内容を確認しないままスルーしてしまう人が多いのでは？と感じた。(50歳代・男性)

問 26. 仙台市消防局がつくっている火災予防のポスターについてどう思いますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。

※『問 25. 仙台市消防局がつくっている火災予防のポスター（別紙 2「ポスターのイメージ」に掲載しているポスターまたはそれ以外でも）を見たことはありますか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。』において、「見たことがある」と回答した方に対する設問です。

- ・たくさん描かれているので内容がぼけてしまっている。(60歳代・男性)

27. なぜそう感じましたか。あてはまる選択肢 1 つに☑をつけてください。

※問 26 において、「あまりよくない」「よくない」と回答した方に対する設問です。

- ・宇宙飛行士とのコラボの意味がわからない。自分には関係無いことだろうとスルーしてしまう。(50歳代・男性)

(次のページに続きます)

- ・色の使い方や、文字がはっきりとわかるように何のポスターか一目でわかるようにしてほしい。(50 歳代・女性)

**問 31. 仙台市消防局がつくる火災予防のポスターやチラシは、市民に広報するうえでどのようなデザインが適当（効果がある）だと思いますか。または見てみたいですか。**

- ・YouTube の広告の時などに流れると気にとまる気がする。(30 歳代・女性)
- ・インパクトのあるもの。(50 歳代・女性)
- ・内容を絞ったものをみてみたい。単純でわかりやすいポスター。(60 歳代・男性)
- ・火災予防というと小学生の描いたポスターの印象がある。インパクトがあって見ると思う。(20 歳代・女性)
- ・多くの人が見て内容に興味をもてるようにしてほしい。(40 歳代・男性)
- ・福島の「来て」と書かれているポスターを連続で貼ることでインパクトを出してバズったように、「燃える」「燃えない」を連続して貼ったりするなど。ポスター1 枚で完結する内容にしないなど、幅を効かせた人の目を引く広告作りがほしい。(20 歳代・女性)
- ・わかりやすいもの。(50 歳代・女性)
- ・端的にわかりやすい標語など。(60 歳代・女性)
- ・ポスターは市バスの外まわりにわかりやすいものを載せる。(60 歳代・女性)
- ・文字よりイラストが多いとわかりやすいかも。(50 歳代・女性)
- ・文字情報が多すぎる。必要最低限情報をビジュアル化で。(70 歳代以上・男性)
- ・わかりやすいポスター。(70 歳代以上・男性)
- ・内容のわかりやすいもの。(60 歳代・女性)
- ・子どもが見て理解できるわかりやすいデザイン、絵、写真だと、一緒に眺め、それについて話したりして印象に残りそう。(40 歳代・女性)
- ・クイズ形式のものや間違い探しのようなゲーム性のあるもの。(30 歳代・女性)
- ・キャラクターなどが上手に説明しているような子どもにも親しまれるポスターやチラシ。(60 歳代・女性)

**問 32. あなたの火災予防の知識は主に何から得ましたか。**

- ・集合住宅の消防訓練。(60 歳代・女性)
- ・前に住んでいた地域の防災センターで子どもを抱っこしながら煙で暗くなっているところを脱出する体験をした経験がある。火災の恐怖が身にしみてわかり、それ以来、火災にはとても気をつけるようにしている。仙台市でも体験できるところがあれば、大きくなった子どもとまた体験したい。(30 歳代・女性)
- ・勤めていた際に ISO14001 の社内監査を経験した。適用法令項目に消防関係法令があり、ある程度の知識がある。(70 歳代以上・男性)
- ・損保協会や保険会社からの情報。(60 歳代・男性)

(次のページに続きます)

- ・家を建てる時に工務店の方から。(30 歳代・女性、60 歳代・女性)
- ・回覧板。(50 歳代・女性・2 名)
- ・よく覚えていない。(60 歳代・女性)
- ・仕事。(70 歳代以上・男性)
- ・在職中の定期的な消防訓練。(60 歳代・女性)
- ・宅地建物取引士の更新講習会。(70 歳代以上・男性)

**問 33. 火災予防の広報は何の媒体をつかうと効果があると考えますか。**

- ・仙台市消防局の Instagram をフォローしている。うちと同じ柴犬を看板犬のように使っているのがとてもかわいくて目を惹く。そのわんちゃんも来るイベントなどあったら行きたい。火災予防などの呼びかけにはわんちゃんを載せるのはとてもいいと思う。(40 歳代・女性)
- ・全保険会社や全共済、損保協会、各メーカーなどとコラボして期間を決めて集中的に広報活動を実施する。その場合も、総花的なものではなく、例えば「火災報知器」「放火について」「山林火災」「ストーブと火災」「電気器具と火災」など具体的テーマに沿って実施する。民間とコラボすることによって、民間の知恵や経済的な側面で市にとっても有益。(60 歳代・男性)
- ・ポスターは効果があると思うが、貼る場所を考えた方がいいと思う。(40 歳代・男性)
- ・町内会の各家庭への回覧板や公共交通機関でのアナウンス。(50 歳代・男性)
- ・公的建物入口近くへの掲示。(60 歳代・女性)
- ・電子広告、電車内への掲示。(50 歳代・女性)
- ・町内会の回覧板。(70 歳代以上・男性、50 歳代・女性)
- ・紙ベースの方が目で見て記憶に残りそう。(40 歳代・女性)
- ・雑誌や市政だよりなどのパンフレットの表紙などパッと目に入るもの。(60 歳代・女性)

**問 34. 問 33 で回答した中で、最も効果が高いと考えるものを 1 つ選んでください。**

- ・全保険会社や全共済、損保協会、各メーカーなどとコラボして期間を決めて集中的に広報活動を実施する。その場合も、総花的なものではなく、例えば「火災報知器」「放火について」「山林火災」「ストーブと火災」「電気器具と火災」など具体的テーマに沿って実施する。民間とコラボすることによって、民間の知恵や経済的な側面で市にとっても有益。(60 歳代・男性)
- ・公共交通機関でのアナウンス。(50 歳代・男性)
- ・町内会回覧。(70 歳代以上・男性)
- ・全戸配布のチラシ。(70 歳代以上・男性)

問 35. 火災予防のために広報をしてほしいこと、知りたいことなどありましたら記入願います。

**【消火器・住宅用火災警報器について】**

- ・自宅に消火器を設置していない家庭も多い。購入方法や正しい使い方なども合わせ必要性を広めてほしい。(40 歳代・女性)
- ・家庭用消火器を選ぶ際のポイント (消火器の種類、金額、購入場所等)。(50 歳代・女性)
- ・家庭内では、消火器をどこに設置しておくのが良いか周知すればいいと思う。(50 歳代・男性)
- ・日頃から火災予防をしなければと思うものの、消火器の購入方法など基本的なことが分かっていないので、消火器を購入できる場所や使い方などのわかりやすい情報を記した広報があればいい。(40 歳代・女性)
- ・消火器の廃棄交換方法。(50 歳代・女性)
- ・消火器の使用方法や使用期限の切れた消火器の処理方法を広めてほしい。(20 歳代・女性)
- ・「区役所に行かないと分からない。市のホームページを見ても分からない。」という現状が各部署で見られる。何かに気付けるきっかけがほしい。(20 歳代・女性)
- ・小さい消火器の無料配布など。(これは広報ではなく市政ですね。)(50 歳代・女性)
- ・火災報知器の交換が必要なこと。(60 歳代・女性)
- ・火災警報器がまだまだ知られていない気がする。お店と協力して売ったらいいと思う。(50 歳代・女性)
- ・住宅用火災警報器の設置義務については、チラシ (町内会回覧など)、テレビ、新聞などのマスコミ情報で知り、必要な部屋に設置した。点検についても実施している。警報器の交換の必要性についてはチラシ等からの情報に接していない。10 年ほど前の広報状況と比較し、警報器の交換を訴える広報戦略について検証してもらえればありがたい。また、自然災害では地震が宮城県などでは最も関心が高いが、火災は関心度が低くなるように思う。消防関係の方はご苦労も多いかと思うが、火災予防広報について実施結果の検証を行い、より効果的な方法を検討していただきたい。(60 歳代・男性)
- ・火災報知器の音が小さい気がする。住宅が高気密化しており警報音が住宅の外に届き難いので、近所の人や高齢者が警報音を聞き取り難くなっていると思う。仙台市としてメーカー、メーカーを束ねる協会などの組織や損保協会に働きかけ報知器の音など実際確認したらいいかがか。その上で、市民に広報したらいいかがか。赤色光と音で知らせる家庭用火災報知器などあればよい。(60 歳代・男性)
- ・火災報知器の正しい理解を広めてほしい。料理中に火災報知器が頻繁に鳴ってしまうが、それは問題ないことなのかを教えてほしい。消火器の使い方を教えてほしい。(20 歳代・男性)
- ・住宅用火災報知器の購入方法や取付方法に関する情報が足りないように感じる。YouTube や TikTok など、動画で知らせるとわかりやすいのではないかと思う。(40 歳代・男性)
- ・住宅での火災報知器の義務は完全に広まっていらない気がする。ガスの定期点検のように報知器の点検が行われると安心。地震が起きて家を離れて避難した場合の住宅の火災予防など要点をまとめた情報があったらいいと思う。(50 歳代・女性)

(次のページに続きます)

- ・火災警報器の交換（電池の交換）は難しいので、具体的にどうやるのかを周知してほしい。  
（20歳代・女性）
- ・火災予防については何もできていない。住宅用火災警報器も天井の高いところにあるが点検、手入れ方法など知りたいことはある。講習会、勉強会などがあるといいのではないかと思う。  
（40歳代・女性）
- ・消火器について以前は大きいものを設置（台所）していたが、前回より小型のものに変更した。効果について変わらないのか知りたい（10年以上前に消火訓練に参加したとき、火が壁までまわったら消火器も役に立たないと聞いた気がするので、お守りのように小型のものを置いている。）。また、自身の周りで住宅用火災警報器をきちんと設置交換している方が少ないように思う。以前住んでいた千葉では町内会の対応などがよかった。（60歳代・女性）
- ・10年ほど賃貸住宅に住んでいるが住宅用火災警報器はついているものの、いざという時の使用方法がわからない。古い消火器があるがどう処分してよいかわからない。（50歳代・女性）

#### 【放火対策等について】

- ・空き家の火災（放火）が危険。火災予防の観点も併せた空き家対策が必要。（70歳代以上・男性）
- ・隣近所の火災や、放火などの心配。（30歳代・女性）
- ・火災の原因のうち、放火がとて多いと聞いたことがある。放火を防ぐための広報や、啓蒙活動などをしてほしい。（70歳代以上・男性）
- ・近所の空き家情報がほしい。近所をパトロールする際の参考にしたい。（70歳代以上・男性）
- ・放火を防ぐため前日のごみ出しをしないよう徹底する。（60歳代・女性）

#### 【火災の件数・原因などについて】

- ・仙台市の火災件数。火災を予防できた実例など。（40歳代・女性）
- ・火災体験者の経験談。具体的にどんなことを後悔・反省しているのか、どんな備えが役に立ったのかを知りたい。（もちろん匿名で）。火災の原因のデータ集積はされているようだが、より身近に問題意識を感じられるような広報がしやすいと思う。  
仙台市の区ごとの件数があると、より身近に感じる。また、火災発生件数の数年間（あるいは5年ごと等）の推移も興味がある。（70歳代以上・女性）
- ・火災の件数や原因等を定期的にお知らせ（チラシやテレビで）して、注意喚起をしてほしい。  
（30歳代・女性）
- ・仙台市の火事の件数があると、自分ごととして捉えやすいのではないか。（30歳代・男性）
- ・発生した火災原因の記載と予防対策、そしてその有効性等の記載があると良い。（70歳代以上・男性）
- ・年間の地域(市区町村)の火災数と、出火原因の集計。（60歳代・女性）
- ・火災原因とその予防対策などが知りたい。（30歳代・男性、60歳代・男性、70歳代以上・男性）

（次のページに続きます）

- ・冬期でない今（6～7月）、住宅火災のニュースがマスコミをにぎわすが、その原因を具体的に知りたい。またそれらの事柄をラジオ（多めに）、TVを利用して告示してもらえたらありがたい。（70歳代以上・男性）
- ・実際に起きた火事の意外な原因を紹介してほしい。（40歳代・女性）
- ・火災のニュースなど、家族で見ているいつも話していることだが、火事の情報はもちろんだが何が原因で火事になったのか知りたい。知ることのうちにはこれに気をつけようなど予防することが出来るから。原因を知ることが出来るサイトなどがあればその情報も一緒に知らせてほしい。火事の原因を知ることが予防につながると思うので、ぜひ。（50歳代・女性）
- ・市内の火災の原因、火災が起これぬよう気を付けるべきことをわかりやすく周知してほしい。別紙2のポスターは目につくはずなのに見たこともない。（50歳代・女性）

### 【火災予防・出火時の対策等について】

- ・季節ごとの具体的な危険性のわかりやすい解説や予防の訴求。（40歳代・女性）
- ・出かける前に最低限何をすればよいか教えてほしい。（40歳代・女性）
- ・より効果的・大切な予防方法など。（40歳代・女性）
- ・火災が起きた時、すべきことの優先順位。（50歳代・女性）
- ・公共交通機関や、公共施設利用中に火災に遭遇した場合の避難マニュアル。すべてを係の人に委ねないで、自分たちでも慌てず行動するための意識の啓発。（60歳代・女性）
- ・家庭に備えておける防火用品。（40歳代・女性）
- ・賃貸、持ち家、オール電化、IHなどでそれぞれ気を付けるべきことは違ってくと思うので、対応した冊子（およびPDFデータ）などがあると嬉しいかもしれない。（30歳代・女性）
- ・家庭でできる火災予防。（50歳代・女性）
- ・なかなか事件でもない限り調べようと思わないので、生活の中で考えさせられる瞬間があると良い。身近な火災の原因となっていることへの対策や火災を意識したコンロの注意等、身近な予防策が知りたい。（20歳代・女性）
- ・地震の時には、ガス栓を閉める事及び電気機器のプラグをコンセントから抜くこと以外に必要なことはあるか？火災予防とは関係ないが、昨年マンションに引っ越した。もし火事が発生したら、エレベーターも停止し、非常階段も使えなくなったら、どうすれば良いのかと大変不安に思っている。いざという時、パニック状態になりかねない。どのように避難したらよいか、適切なアドバイスを頂きたい。（70歳代以上・女性）
- ・集合住宅、特に高層マンションの○階で火災が起きたときは上に逃げるとか、下に逃げるとか、窓から飛び出す時に注意することや、有毒ガスを吸わないための方法など細かく知りたい。（40歳代・男性）
- ・火事で逃げ場がなくなったときの対処法。（40歳代・女性）
- ・非常時は、身一つで逃げると教わってきたが、もしも最低限持ち出すような身の回り品や備えなどがあれば知りたい。（40歳代・女性）
- ・季節によって気を付けるべきことについて知りたい。また、子どもがいる家庭の予防法なども知りたい。（20歳代・女性）

（次のページに続きます）



- ・火災予防のために日頃できることと、万が一、火災が発生した時の対応も知りたい。(40 歳代・女性)
- ・予防の仕方や準備物など教えてほしい。(20 歳代・女性)
- ・電気器具の安全な充電の方法・注意点。(70 歳代以上・男性)
- ・タバコのポイ捨てをさせない広報。(60 歳代・男性)
- ・普段料理をして急に火災になった時の対処。近ごろの雷の対処。(40 歳代・女性)
- ・避難の仕方。普段の生活の中での予防方法(気を付ける点)。(50 歳代・女性)
- ・IH の住宅を購入し移住して 2 年目。IH なので安心と思い込んでいる部分があるので、オール電化の住宅に居住している家庭ではどんな対策が必要なのか等も知らせてもらえるとありがたい。例えば子どもが小さい家庭や鍵っ子で 1 人で留守番させる場合の予防策など。子どもが第一子のため知識としたい。(40 歳代・女性)
- ・一戸建て、集合住宅どちらであっても住宅の周囲に、また集合住宅であれば階段にも燃えやすいものを置かないということを徹底してほしい。地区ごとに工夫してほしい。(60 歳代・女性)
- ・電源タップ(延長コード)は 3~5 年が寿命というのを最近始めて知った。知らないで使っている人が多いと思う。私は SNS で知ったが、ご年配の方々に情報が届かないことがないようと思う。(30 歳代・女性)
- ・自宅に消火器が必要か、補助とかあるのか気になる。いざ火事になったときの煙からの逃げ方などを、子どもだけでなく(学校でやったりする)大人も知るすべが欲しい。火災予防もだが、もしもの時の知識も教えてもらえればと思う。(50 歳代・女性)
- ・火災発生から燃え広がるまでがとにかく早いか、その危険性を教えてほしい。(60 歳代・女性)
- ・電気火災に関して、発生例や原因についてオール電化なのでもっと知りたい(知識不足のため具体的に)。延焼に関して、もらい火の実例とその時の風向き、風速、その他の危険因子について知ることにより、予防や防火意識の向上備えにつながるのではないかと。(70 歳代以上・男性)

#### 【広報の手法などについて】

- ・学校からのプリントなどがあれば、確実に見る。(70 歳代以上・男性)
- ・予防に関する情報がまとまっているホームページ。(20 歳代・男性)
- ・チラシの配布や自治体での避難訓練、また、子どもたちが学校からお便りとして配布されてきたり子どもたちも学校で火災について学ぶ機会があると良い。(40 歳代・女性)
- ・イベントへの出展、パトロール活動など消防局がもっと身近に感じられるようなものがあると消防への関心も高まると思う。(50 歳代・女性)
- ・Instagram で投稿だけではなくレスしてほしいし気軽に質問に答えてもらえたらありがたい。住んでいる地域で、もし危険箇所など見つけたときなどわざわざ電話は…と思って躊躇してしまうが、SNS なら気軽に伝えられる。(40 歳代・女性)

(次のページに続きます)

- ・火災の瞬間や原因を、小学校低学年からでも理解しやすい CM や映像を作成し、繰り返し放送する。小学校に年に 2 回くらい消防の方に来てもらい、幼少期から火災の原因や対策を繰り返し周知させる。(40 歳代・女性)
- ・実際に火災が起きてしまったら、そのあと、どんなことを行わないといけなくなるのかがよく分かっていない。こんなに大変なことがある、という事例を出してほしい。(50 歳代・男性)
- ・火災、地震が発生した時の避難場所についての啓蒙。(70 歳代以上・男性)
- ・家の周辺に燃えやすいものを置かないようにすること(放火予防)。コンセント周辺の埃やごみを掃除する必要があること(埃への引火予防)。(50 歳代・男性)
- ・小さい頃の方が心に響くと思うので、小学生から学校で教える機会があるといいと思う。(30 歳代・女性)
- ・日常で危機感をあまり感じられていないので、テレビで定期的特集を組んでほしい。(20 歳代・女性)
- ・やはりテレビが一般的だと思う。防災のお祭りなどクイズ形式などでやっていただければ楽しみながら勉強できると思う。(50 歳代・女性)
- ・空気が乾燥して火事が起きやすい天候の時など、広報車で地域を巡回してその旨放送していけばとてもわかりやすく気を付けると思う。(60 歳代・女性)
- ・私が居住する鶴ヶ谷団地では鶴ヶ谷交番が毎月広報チラシ(前月の状況報告や事件防止方法など) A4 判 1 枚を作り各町内会に配布し回覧している。これが現状で一番の周知、告知手法と思う。(70 歳代以上・男性)
- ・電気関係の火災が多いことを知らなかった。コンセント周りのほこりなど使用状況について予防策があるならばチラシにしてもらえたら目を通していく人が増えるのではないか。(30 歳代・女性)
- ・火の怖さを伝える。火災になると全焼でもボヤでも水をかぶるので再建が難しいことを伝える。(70 歳代以上・男性)
- ・子ども向けのイベントが多い気がする。大人でも気軽に参加できるイベントとかあったら行ってみたい。(30 歳代・女性)
- ・子どもが理解できる説明や写真が必要と思う。(70 歳代以上・男性)
- ・ガスフェアのように来場記念品を掲げ、何か火災予防に必要なグッズの無料プレゼントありのイベントがあれば、家族みんなで参加し消防に関する勉強ができる。消防車の見学ができたり消火器の使い方のデモンストレーションをしたりというものがあればぜひ参加したい。実際の火災の実例を挙げてまとめたものを映したりしてほしい。(40 歳代・女性)
- ・孤独族が多くなった時代にふさわしい「火災予防ポスター」を恐怖と安心感を与える内容に仕上げてもらいたい。(70 歳代以上・男性)
- ・せっかく税金を使って PR してもポスターやチラシでは視覚にしか訴えることが出来ないとと思う。視覚、聴覚、嗅覚など出来るだけ多くの体の部分を使う点においては消防訓練がベストだが、今のご時世では難しい。となると TV カラジオでの広報活動が現実的で効果的だ。(50 歳代・女性)

(次のページに続きます)

- ・冬など火災が起きる季節に消防車が住宅地を広報するとその時気づく。消防車で回ってほしい。各地区の消防署も交番がやっているように地区で起きた火災を町内会に配布すると、皆関心を持つのではないか。(70歳代以上・男性)
- ・火災は地震などの自然災害と違って、日頃の自助努力で防ぐことも可能なものとして広報してほしい。今どこに掲示や広報をどんな形でやっているのか。(60歳代・女性)
- ・火災予防についてもチラシやポスターは全く見た覚えがなく、どこにあるのかも分からない。もっとみんなの目にとまるところに出したほうがよいのではないか。(70歳代以上・男性)
- ・私の自宅は平成7年築だが住宅用火災警報器がない。設置するにはどうしたら良いのか？数年前にリフォームしたときに台所のガスコンロを少々価格が高かったが火災予防にと思い、さまざまな安全機能がついているものにした。ガスコンロやヒーターなど今は新しくこういう安全機能がついてあるものがあるなど、知る機会がほしい。(年代不明・女性)

### 【高齢者対策について】

- ・高齢者だけで住んでいる家の見回り、声がけ。冬になったらストーブの置き場所を確認してほしい。(30歳代・女性)
- ・火災のニュースで行方不明になっているのは老人が多い。老人宅での火災が結構多いように思う。独居老人宅が増えていることもあり、消防局の定期家庭訪問や宅内点検サービスなど高齢者に的を絞った広報を充実してほしい。(70歳代以上・男性)

### 【その他】

- ・乾燥注意報。火災報知器の設置や交換の案内。消火器の種類と設置場所、使い方、交換等の案内。実際に火災が起きた時の対処法の案内。(60歳代・女性)
- ・市内で火災が発生した場合、予防の観点から火災の発生原因を具体的にわかりやすく説明してほしい。市政だよりで住宅用火災警報器について説明してほしい。(60歳代・男性)
- ・火災予防は個レベルでの理解が重要と思われる。そこで「市政だより」等を通じて市内等で発生した火災の原因、結果についての事例を一例程度毎月掲載するのは如何なものだろうか。消火器のリサイクルは市が関われないものだろうか。(70歳代以上・男性)
- ・新聞、ポスター、チラシでの注意喚起は記録性・保存性を有しており、広報には有効で、毎年これら媒体を拝見した場合や、テレビ・ラジオニュースで火事、焼死のニュースが流れると気が引き締まる。24時間365日ご活動なさっている消防士のご苦勞を、また不幸にも発生してしまった火災に伴う悲惨さをドラマティックに伝えていただくことにより、我々一般市民に対する共鳴が増幅して伝わるものと率直に思う。また、防火意識を地域ぐるみで如何に養成していくか、更には自分のこととして取り組んでいけるような動機付けになる内容を広報してほしい。(70歳代以上・男性)
- ・火災発生の原因とそれに対するの注意事項。火災防止の対策。火災原因の季節ごとの順位。火災から逃げる場合のタイミング、注意点(初期消火はどこまで行えるか)。防火用品の知識。(70歳代以上・女性)

(次のページに続きます)

- ・地域の消防署などに気軽に行けるようにしてほしい。地域ぐるみで見守れる環境づくり。  
(30 歳代・女性)
- ・防災センターなどの事を紹介してほしい。コロナであまり外出できていなかったので、前設問で回答した様に火災の煙体験ができるようなところがあれば、もう一度体験したい。(30 歳代・女性)
- ・自宅の火災について今まで意識したことが正直全くなかった。料理の際に IH コンロを使用しているためだと思う。(40 歳代・女性)
- ・予防は大切だと思うが、震災のように火災も自分には起こらないことと考えている人は多いと思う。特にお年寄りには危ないと伝えても、平気でストーブの上に洗濯物を干す、こたつの中で洗濯物を乾かす、ストーブの火を消さずに灯油を入れる等するため、本当に止めてほしいが、昔からやっているから注意しているから大丈夫の認識。火災を起こしたら自分ばかりでなく、他人にも多大な迷惑をかけてしまう。うっかりでも、重大な事件になると広報してほしい。(50 歳代・女性)
- ・これ以上特にない。現在の職員の皆さんの多忙で真剣な勤務に対して感謝する。(70 歳代以上・男性)
- ・火災のあと、どれくらい大変なのか。火災後、被害に遭った人がどのように過ごし、家などを再建するのか。怪我などからの回復。それがどれくらい大変なのか。(30 歳代・女性)
- ・火災の怖さ。(70 歳代以上・男性)
- ・火災予防訓練の強化。(50 歳代・女性)
- ・各地域での消防団組織・活動。(60 歳代・女性)
- ・火災にあったときの損失、その他、全般について具体的に教えてほしい。(70 歳代以上・男性)
- ・「火災予防」の情報を知りたい！と思ってもどこで情報を得られるのか個人としてわからないし友人や家族に恥ずかしくて相談しづらい。(30 歳代・女性)
- ・火災は人命を奪いかねないということが切実に伝わるような広報へのご尽力に今後とも期待する。(60 歳代・男性)
- ・①火災予防運動の名称を火災予防週間に変更したらどうか。  
②火災予防運動に合わせてパンフレット等に火災の怖さを匿名体験談として掲載したらどうか。  
③月別標語を募集し、採用になった標語は各町内会で毎月掲示板に掲出してもらったらどうか。(60 歳代・男性)
- ・市民一人ひとりの協力を得るには手間がかかっても継続して根気よく実行していくのみ。特に単身者の多い仙台市では町内訓練も含めて面倒だが周知する。(70 歳代以上・男性)

問 36. そのほか、火災予防やその広報へのご意見やご感想、改善に向けたご提案などありましたら記入願います。

**【消火器・住宅用火災警報器について】**

- ・オール電化住宅に建て替えてから 20 年を超えた。新築時は義務では無いので、火災報知機の設置はしてなかった。備え付けの消火器を確認したら、建設時に購入したもので、使用期限をとうに過ぎていた。設備等の確認・点検の必要性を強く感じた。(70 歳代以上・男性)
- ・火災報知器や消火器の交換時期がわかるラベルがあればよい。身近な場所に貼っておけば交換を忘れない。(70 歳代以上・男性)
- ・火災報知器の音が鳴るかを試すと周りの人がびっくりしてしまうので、1 年に 1 回日を決めて住民皆が一斉に音が鳴るかを確かめる機会を作るべきだと思う。(20 歳代・女性)
- ・集合住宅住まいのため特に火災予防は意識している。以前消火器の期限を知らない頃、破裂音とともに天井に穴が開き、部屋中薬剤まみれになり大変な思いをした。知らない方が多いかもしれない。(60 歳代・女性)

**【火災の件数・原因など】**

- ・発生状況を周知してほしい。(60 歳代・女性)
- ・原因別月別発生のデータベース。(70 歳代以上・男性)
- ・市内でも火災が発生していてその原因は何だったのか気になる。個人情報もあって場所も特定されるような原因についての報道は望まないが、(回覧板で年に数回、火災原因についての簡単な紹介はあるが) 事例としての原因や家の中の火災前の状況がこんな状況だったから火事が起きたということを知れば、ああ我が家でも同じことをしているんだから気を付けなくてはと考えると思う。回覧板だけでなく市政だよりにチラシを入れてほしい。たびたび見返すと思う。(年代不明・女性)

**【火災予防・出火時の対策等について】**

- ・マンネリ化が怖い。実は火が見えない IH コンロや電気火災、庭の猫よけのペットボトルからの出火など、身近な火災予防を啓発してほしい。(50 歳代・女性)
- ・雷による家電等の破損を防ぐ予防策も知りたい。(40 歳代・女性)
- ・オール電化の家も増えてきている。そのような家でも火災が発生することがあるのか知りたい。古い知識しかないような気がするので、今風の火災予防について知りたい(石油ストーブやタバコなどは減ってきているのでは…)。(30 歳代・女性)

**【広報の手法等について】**

- ・町内会の掲示板を有効に使うことが重要。(70 歳代以上・男性)
- ・今までのように、広報で見ることで予防になると思う。(40 歳代・女性)
- ・ニュースなどのコーナーを定期的に設け、火災予防の知識を定着していったらいいと思う。(30 歳代・女性)

(次のページに続きます)

- ・実例や火災の怖さを知ることによって自分のこととして考えるきっかけになる気がする。(40 歳代・女性)
- ・町内会への広報活動。(70 歳代以上・男性)
- ・在職中は、勤務組織や住まいのマンションで、年一回、消火器の使い方、火災時の避難訓練等があり参加した。しかし、退職後 5 年経つが一度も避難訓練をしたことがない。おそらく団地全体レベルでの避難訓練等はあるのかもしれないが、案内等の記憶がない。避難訓練の開催を町内会ごととかの小規模にしてみんなで火災予防への意識を高めることが必要と思う。(60 歳代・女性)
- ・消防車の火の用心カーンカーンの音も、もう若い人には消防車ということすら分からないのではないと思う。アパートで一人暮らししているような人にも届く広報をしなければならない。具体的に浮かばなくて申し訳ない。(50 歳代・女性)
- ・マンガを活用して、視覚的に訴求するともっとわかりやすいかと思う。または、ドラマストーリー仕立てにするなど、字のみで説明していると、情報が入ってきにくい部分もあるので、工夫していただくと身近な情報としてなじんでくるかと思う。(40 歳代・女性)
- ・子どもと一緒に住んでいるので、簡単でわかりやすいことばで火災予防を教えてほしい。例えば学校など、みんなと一緒に考える場をたくさん設けてほしい。(40 歳代・女性)
- ・火災予防へ興味がない人へのアピールとして、目につくポスターや行きたくなるイベントが必要だと思う。(50 歳代・女性)
- ・外出時の火の元チェックリストを小さなリーフレットにして役所や証明発行センターなどに配架するとか、消防署に立ち寄った人(救命救急講習などで)に配布。冬場の暖房器具の取り扱いと、一酸化炭素中毒事故防止の注意喚起を秋口から早めに。(60 歳代・女性)
- ・①平成や令和の表記よりも、私には西暦のほうがわかりやすい。併記を希望する。  
②左のポスターは色調が暗過ぎる。右のポスターは、野球に関心ないので、まったくピンとこない。文字が多すぎて、何を伝えたいのか、かえってインパクトが小さくなっている。  
③チラシは、漢字が多くて、読みにくい。多くの人たちに読みやすい、さらに吟味したシンブルな表記が必要。  
④上のチラシの青色(右)の「住宅火災いのちを守る 10 のポイント」の 4 つの危険な行動には、それぞれに×印が必要。(70 歳代以上・女性)
- ・小中学生の防火標語やイラストのポスターが好き。これらはいつどこで公開されているか?どこかで展示しているのであれば、一般市民にも分かるよう広報活動願う。(30 歳代・女性)
- ・火災予防については保育所・幼稚園・小学校・中学校などの教育機関で年齢にあわせて広報することが重要。例えば「交通安全教室」などの防災行事においても火災予防について一言(ちょっとした)「火災を見つけたら大人のひとにすぐ知らせる」など広報を繰り返すことによって、低予算で火災予防が進むと思う。(60 歳代・男性)
- ・消防、警察車両でのパトロール。地域でごみの日や近隣に燃えやすい物があるか見回りをするよう要請する。(40 歳代・女性)

(次のページに続きます)

- ・火災は怖いけどポスター等を見てもあー冬が来るな〜位の認識。しかし、地元のテレビなどを利用して何度も何度も危険なこと、やっちはいけないことを伝えていくしかないのではないかな。朝のニュースの1コマや夕方の方のローカル番組などなら、お年寄りも観ているので。(50歳代・女性)
- ・現場にカメラが入ったテレビ番組を通しての広報。日々の活動を市民に伝えることができるので(少し前に仙台市消防局も出てましたが)、年1くらいでやってはどうか?(50歳代・男性)
- ・火災が多くなる時期に限らず日常的に予防していくようにしたほうがいい。(40歳代・男性)
- ・地区町内会とのタイアップで、火災予防に対する運動の実施。(70歳代以上・男性)
- ・やはり大切なことは、防火に対する訓練をすること、火災を起ささないよう常にチラシを掲示しておくことなどが必要。我が家も警報器を設置したいと思う。(70歳代以上・男性)
- ・学生向けに防火意識向上の講習会を実施したり、市政だより等へ冬時期はパンフレットを毎月入れる等、老若男女の目に触れる機会を多くすることが予防につながると思う。(50歳代・男性)
- ・だれもみないチラシは必要ない。チラシはイベント案内等では有効だが、注意喚起の目的の場合は結果として費用の無駄使いとなっているかも。(50歳代・男性)
- ・「市政だより」などに火災についてもっと記事を書ける。(70歳代以上・男性)
- ・防災減災アドバイザーの方が、ラジオ等でわかりやすく伝えてるので、火災についても同様の対応ができるようお願いする。(60歳代・男性)
- ・火災予防についてチラシ、ポスター等の広報を頑張っているようだが、もっと興味を示す具体案等を入れた方がいいかと。家族、地域へのお知らせの強化。(50歳代・女性)
- ・チラシや市政だよりなどでも効果はあると思うが、テレビでも宮城はローカル番組が強いので、そういったところでの広報活動を強化したり、芸能人やアスリートに防災大使のような形で関わってもらいたいと思う。メルマガのような形で定期的にアラートのような形で啓蒙活動があると普段から意識できると思う。(30歳代・男性)
- ・文字が多いと何のポスターか分からない。未来ある若者など(学生等)にデザイン依頼をしたほうが一目瞭然のポスターが出来上がるのではないかな。ポスターに有名人の写真を使えばよいというものでもない(以前、スポーツ選手が掲載された火災予防のポスターを見たが、通りがかりのごみ置き場に貼ってあったそれはボロボロ。頑張って活躍している選手の、色褪せ、破れたポスターを目にし、複雑な思いだった。)(50歳代・女性)
- ・テレビを媒体として活気的な啓蒙をしてはどうか。今現在がパッとしないので、広報を地域単位でさらに浸透させていく。私の地区では秋冬の夜間、消防隊の車で半鐘音を鳴らし、「火災用心」と周っているがその音を聞くと気を付けねばとすごく思うので取り入れてみるのも。(60歳代・女性)
- ・消防車の展示等具体的なものに触れる機会の回数を増やす。(70歳代以上・男性)
- ・予防のための教室等を開催してほしい。(70歳代以上・男性)

(次のページに続きます)

- ・ポスターのイメージで文字の数が少なく強烈なアピールポイントを提案したい。  
例えば、「ちょっとの油断があなたの人生と財産を一瞬にしてなくします」など。(70 歳代以上・男性)
- ・「火災予防」など情報のチラシを作っても無駄のような気がする。私の家では捨ててはいるが隠すように置いてある。見たいときに見れない状態になっている。(30 歳代・女性)
- ・昔、学生の頃は定期的に火災訓練など行っていたが、社会人になってほとんどない。市や区で定期的に火災予防に関するイベントがあれば気軽に参加でき日常的に意識できるのではないかと思う。(50 歳代・女性)
- ・日ごろから火災予防に努めるようにしている。自分に必要な情報は主にインターネットであるとアンケートに答えて気づいた。ポスター・チラシ等を見たのは今回が初めてかもしれない。オール電化も普及しているがお年寄りの世代ではまだまだガスコンロ・ストーブ等の火の取り扱いが多いと思う。その世代にはやはりテレビや新聞・ラジオ等の情報が身近ではないか。(50 歳代・女性)
- ・火災予防や火の広報に、楽天イーグルスの岸投手を採用してポスターにしているのはとても有効だ。地元で愛されている方、例えば楽天イーグルスや地元出身の有名な方を採用してポスターにして掲示してあればそれが目にとまり見る回数も増える。(60 歳代・女性)
- ・以前横浜の防災基地を見学させていただいたことがあるが大変参考になった。また「海猿」の映画を鑑賞して消防士、救難救命に携わる皆様に対する感謝の念を忘れてはならないと思っている。仙台市内でも市民広場・勾当台公園等でのイベントがあるが、消防関係の施設見学と実演研修等の機会を作れば、それがニュースになり市民の話題にもなると思う。毎年火災予防週間前に市広報誌等で募集実施していただければ相当効果のあるものになるのではないか。(70 歳代以上・男性)
- ・一目でパッとわかるような書き方。こまごましない。(70 歳代以上・男性)
- ・子ども向けの「火事こんなところが危ない！」のような、親子で楽しめるアプリ…ミニゲームがあったらいい。(40 歳代・女性)
- ・チラシは月ごとに一つの説明をしてわかりやすく覚えやすい、がいい。(40 歳代・女性)
- ・令和 4 年の春の火災予防運動のチラシのように具体的な数字が入っているのは目につきやすいので良いと思う。(70 歳代以上・男性)
- ・各地区への PR 活動やパンフレットの配布。(70 歳代以上・男性)
- ・わかりやすいポスターなど作っていただきありがたく思っている。(40 歳代・女性)
- ・もっと消防の方と身近に話ができる機会があると、現場の方々の生の声も聴け火災の恐ろしさや予防の大事さ等聴けるので危機感も出るかと思う。(40 歳代・女性)
- ・若い世代の人たちは SNS など、YouTube などを見るので人気のアイドルや俳優さんに火災予防を訴えてもらおうと興味をもってもらえるかも。(50 歳代・女性)
- ・ニュースや回覧などで繰り返し報道して注意喚起してほしい。(50 歳代・女性)

(次のページに続きます)



- ・幼小中高の皆さんに講演（紙芝居など）されるといい。もし家が大事になって両親がなくなったら…具体的にお話しされるといい。火遊びについても。(50 歳代・女性)
- ・ポスター、チラシを作る際に心がけてほしいこと。
  - ①ゴチャゴチャ書かない、すべてがぼやけてしまう。火災予防は皆が意識している。
  - ②何を訴えたいのかに絞って作る。
  - ③いっぱい周知したいという気持ちはわかるが小さい文字は読まない、文字は大きく。
  - ④ポスターは遠くからでもインパクトのある色遣いをすべき。(60 歳代・男性)
- ・イメージチラシ A4 サイズに情報を詰め込み過ぎては文字も絵も小さすぎて見えずらくて読む気にはならないし見る気にもならない。ポスターというのですからわかりやすく一目見て想像力を駆り立てるものであってほしい。2021 版住宅用火災ポスターはじめて見たがインパクトに欠ける、ゴチャゴチャしすぎる、守護神の言葉で火災の言葉が薄れる。  
(60 歳代・女性)
- ・杜の都防災ウェブを利用している。大変役に立っている。火災予防のチラシ等の広報誌は町内会の回覧として短期間回ってくるので、時間がたつと忘れてしまうことがあるので、各家庭に配布できるものを一年に一回でもいいのでお願いしたい(保存版)。(70 歳代以上・女性)
- ・チラシ、ポスターは地下鉄駅やバス車内など目にできる場所に貼られていなければ印象に残らないのではないかと思う。火災予防のチラシ、ポスターは見たことがない。(40 歳代・女性)
- ・火災予防のチラシ、ポスターをこれからは注意深く見ようと思う。春の火災予防運動もあることを改めて知った。TV やチラシで多くの人に知ってほしい。若い人は SNS で知ってほしい。そして広めてほしい。(50 歳代・女性)
- ・町内会の掲示板に貼るポスター等で啓発を促す。(70 歳代以上・男性)
- ・別紙のチラシイメージ。町内の回覧版で見かけた。細かすぎて読む気がしない、急いでいるときは飛ばしてしまいそう。ポスターイメージは 2 枚共見たことない。岸さんを載せているポスターのほうは、クリムゾンレッドにイーグルスの岸さんと出会ったら目にとまりそう。仙台ゆかりの有名人にはいいイメージしかないので、まず目にとまるのは大事。マー君だともっと効果大かと、羽生さんならもう別格！(60 歳代・女性)
- ・人の集まるスーパーにも火災予防のチラシやポスターを置くといいのではないか。ポスターの掲示依頼についても学校や市民センターの目立つところに貼ってくれるように依頼すべき。町内会における消火訓練に参加する人は限られている。夏祭りなどのイベント会場で一緒に実施してはいかがか。(70 歳代以上・男性)
- ・冬など火災が起きる季節に、消防車が住宅地を広報するとその時気づく。消防車で回ってほしい。各地区の消防署も交番がやっているように、地区で起きた火災を町内会に配布すると皆関心を持つのではないか。火災の原因を知らせると注意をするのではないか。最近はタバコを吸わない人が多くなった。高齢者の家で火災が多い原因は？市政だよりも入れてほしい。(70 歳代以上・男性)

## 【その他】

- ・自分では気をつけているが、周りからの火災が心配である。(30 歳代・女性)
- ・消防音楽隊によるコンサートが、しばらくの間行われていないのがとても残念。早く再開されて、その機会に防火の意識も高まればいいと思う。(70 歳代以上・男性)
- ・建物の耐火性の確認、放火対策の見回り強化。(50 歳代・女性)
- ・せっかく SNS などがあるので住民との関わり、距離感が近くなれるといい。看板犬のわんちゃんもいるのだから。(40 歳代・女性)
- ・地域での防火訓練が少ないと感じる。年間を通じて数多くしてほしい。一日だけでは、日程調整がつかない人もいると思う。(70 歳代以上・男性)
- ・火災予防は自助努力が一番であるところだが、失火した場合の近隣への影響や保険での対応など、事前防御と事後の対応について具体的な対応策の周知が必要ではないかと思う。(40 歳代・男性)
- ・雑居ビルなどの火災予防を周知徹底してほしい。(60 歳代・女性)
- ・火災予防週間があること自体、はじめて知った。交通安全週間では、各地域イベントが行われていたり、事故に対して気が引き締まる思いがあったりする。火災予防も非常に重要性の高いことなので、さらに普及する運動であってほしいと思う。(40 歳代・女性)
- ・多くの人の人命にかかわる可能性のある集合住宅への火災予防の取り組みについて、具体策のさらなる推進を期待する。(60 歳代・男性)
- ・他県に比べて防災意識は高いはずなので、火災予防に関しても積極的に情報を発信していきたい。(30 歳代・女性)
- ・今年の冬は特に火災による死亡を伝えるニュースが多いように感じて心が痛かった。是非、広報活動が有効に働くようにと願う。せっかくの JAXA 協力のポスター (R4 年度春季) 一度もお目にかからず残念。(60 歳代・女性)
- ・消防のサイレン音を聞くと近所かどこか不安になる。「杜の防災」の情報効果を感じる。(60 歳代・女性)
- ・忘れたころにやってくる。高齢者の多い団地では近所付き合いも含めて声を掛け合うこと。町内活動も低調気味。身に染みている。(70 歳代以上・男性)

順不同